

安 全 報 告 書

大倉山ジャンプ競技場リフト
(単線固定循環式特殊索道)



平成26年度報告

株式会社 札幌振興公社
大倉山事業部

株式会社札幌振興公社 安全報告書

大倉山ジャンプ競技場リフト
(単線固定循環式特殊索道)

平成25年度

利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めています。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
大倉山事業部
(大倉山ジャンプ競技場リフト)
代表取締役社長 星野 尚夫

安全基本方針と最重点施策

1 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時はもっとも安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

2 安全最重点施策

安全基本方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期すため、次のように策定しております。

- (1) 始業点検及び定期点検を完全実施し、施設責任事故をゼロにする。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- (3) リフト係員は、運行の安全確認を行うとともに、乗降の際は「声かけ」を徹底して行い、危険を感じた時は直ちに非常停止措置をおこなうこと。

事故等の発生状況

1 索道運転事故

平成25年度、2件の索道運転事故が発生しました。

10月8日、山麓乗降場で乗客が降車の際、おりば手前で降車し転倒され、ケガを負われました。負傷したお客様には、深くお詫び申し上げます。

今後の再発防止策として、係員間の連絡を密に行い、声掛けと身振り手振りを交えた対応を心がけてまいります。また、降車場手前に人工芝を設置いたしました。

11月7日、営業終了後、山頂勤務の係員が下山の際、終業点検で搬器を大きく揺らしたこと、支柱の点検台に天蓋が接触し脱索する事故が発生しました。

今後の再発防止策として、係員の再教育を実施しました。

2 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成25年度、災害による運行停止はありません。

(1)強風及び雪（除雪）による運休 21日間（143時間35分）

(2)強風・雷・雪（除雪）による一時運休 20日間（70時間15分）

3 インシデント（事故の兆候）

平成25年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

輸送の安全確保のための取組み

1 人材教育

当社では、輸送の安全に役立つよう、営業開始前の整備期間中に施設及び取扱いについての教育を実施しております。

2 緊急時対応訓練

営業開始前の整備期間中に、運行中の停電及び機械故障を想定し、従業員一同にて救助訓練を実施しております。

(1)救助用具を使っての、救助訓練

(2)予備原動機を使って運転する訓練



安全教育



安全教育



救助訓練



救助訓練

3 索道施設の整備及び検査

営業開始前には、試運転並びに始業点検を実施し、施設の安全が確認されてから、営業運転を行っています。

また、定期点検については、関係法令及び自社の「整備細則」に基づいて実施しております。

整備実績として、ユニバーサルジョイント交換、鉄塔の輪交換および索受装置点検を実施いたしました。

(1) 鉄塔索受装置点検整備



索受装置点検整備



索受装置点検整備

(2) 制御保安点検



制御保安点検

(3) ユニバーサルジョイント交換



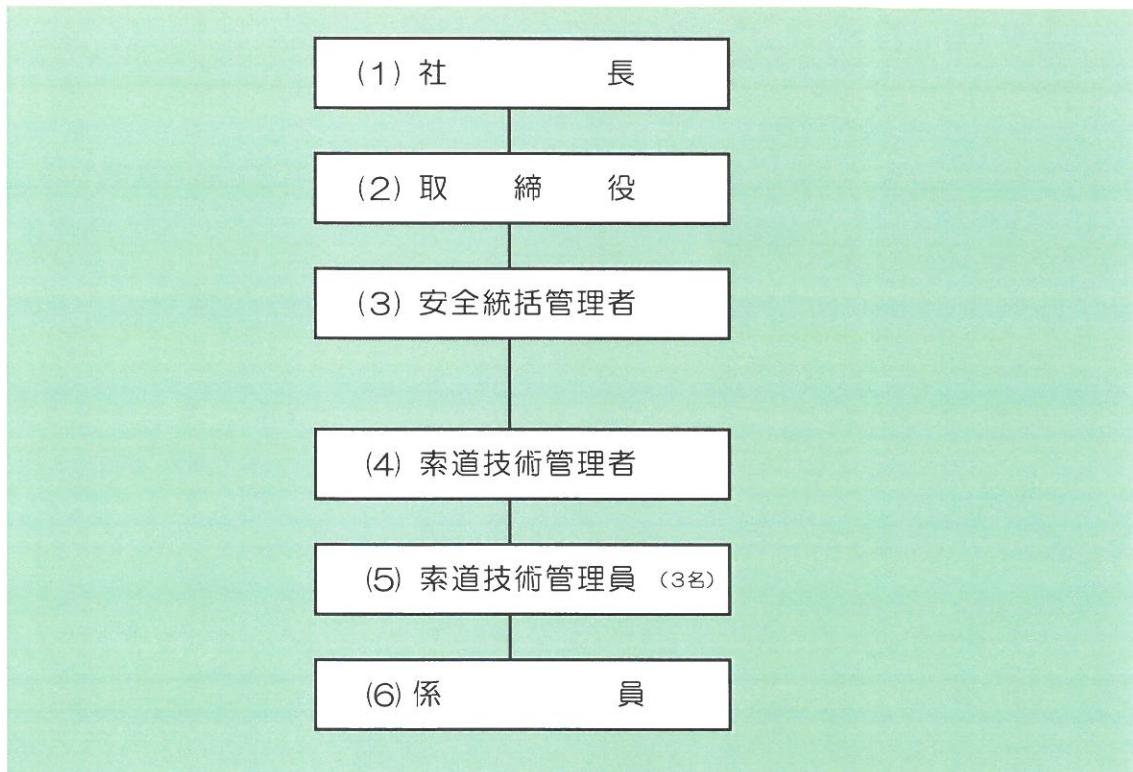
ユニバーサルジョイント交換

4 平成26年度整備及び検査の予定

- (1) 電動機オーバーホール
- (2) 制御保安点検
- (3) 振動検査

当社の安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、安全管理体制図（下図）のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



- | | |
|-------------|---|
| (1) 社長 | 運輸の安全の確保に関する最終的な責任を負う。 |
| (2) 取締役 | 設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。 |
| (3) 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| (4) 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指示の下、索道運行の管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を総括管理する。 |
| (5) 索道技術管理員 | 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。 |

お客様の声

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
(大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901
HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>